

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

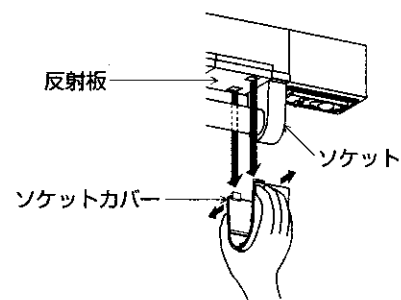
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため
触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 ソケットカバーを取外す

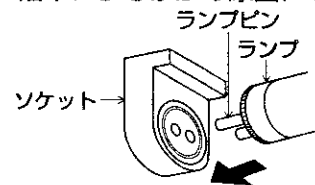
指でソケットカバーを押さながら反射板から取外す。



3 古くなったランプを取外す

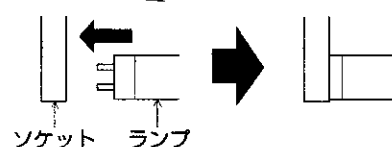
4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。



ランプピンをソケットに確実に差し込み、押しあてて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



5 ソケットカバーを取付ける

■施工手順6を参考に、ソケットカバーを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・蛍光ランプの両端が黒ずみだしたら交換時期です。
- ・長い間使用していると知らないうちに暗くなってきました。定期的に交換しましょう。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性のものや、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AHG430231

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
禁止	このような場所には取付けしないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	！ 厳守	この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があっているか確認してください。 →間違えて使用すると火災の原因になります。
禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	！ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.
保証期間(お引き渡し日より) 本体: 1年間 安定器: 3年間		お買上年月日
お名前		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
ご住所		
電話 ()		

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
AHG430231	AC100V	50または 60Hz	47W	FL40SS/37×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

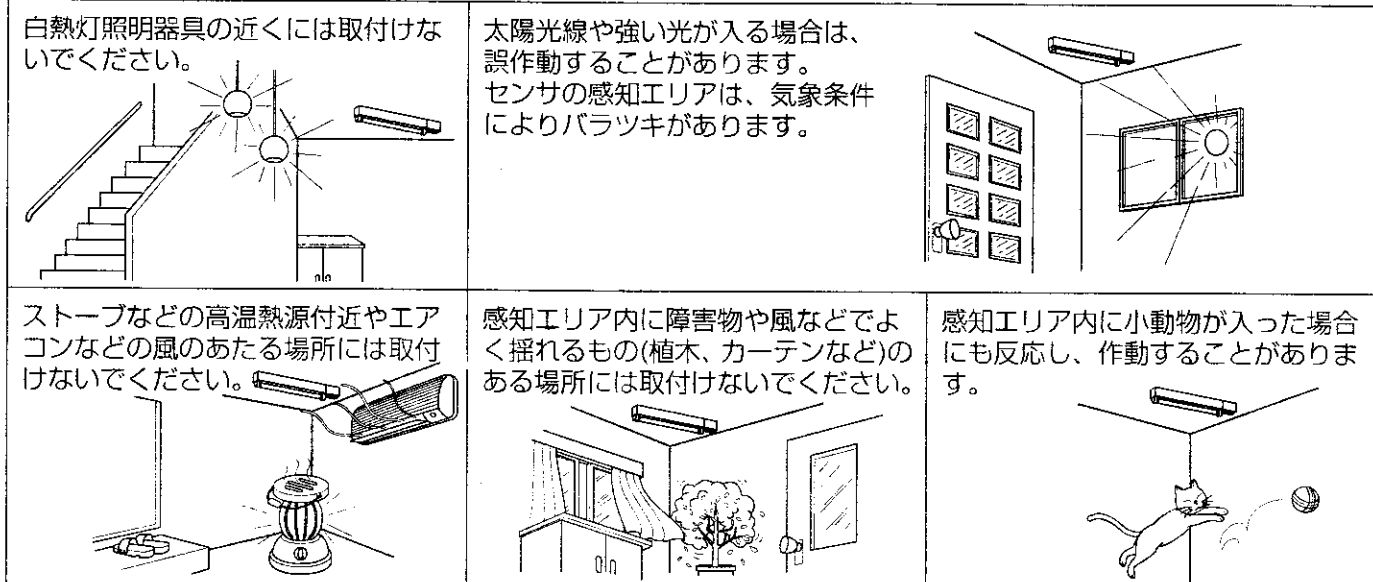
■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

取付ボルトはW3/8、またはM10を使用する。
木ネジは丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

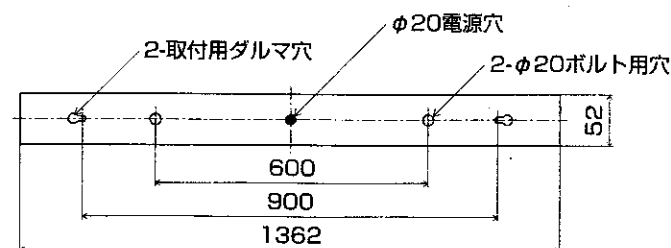
3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

5 取付ピッチ

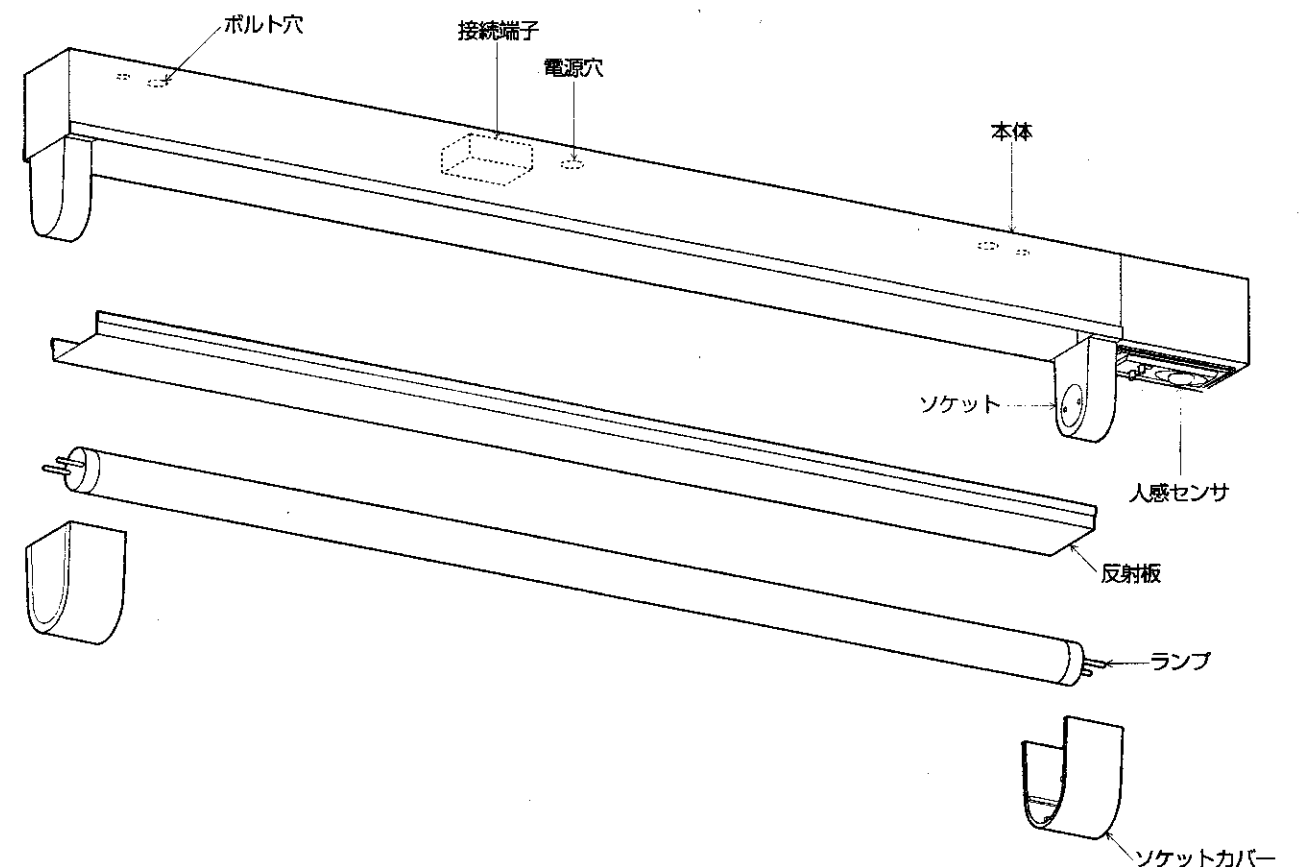


6 壁スイッチを設ける

誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

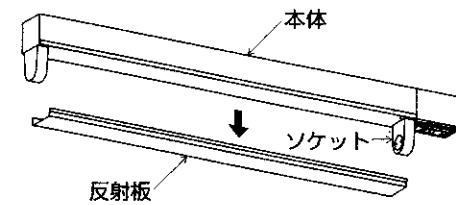
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 反射板を取外す

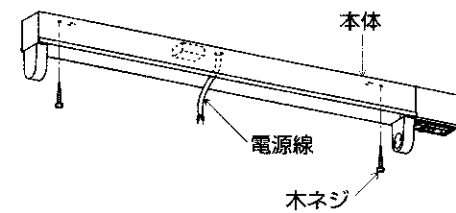
本体より反射板を取外し、ソケットを本体に取付ける。



2 本体を取付ける

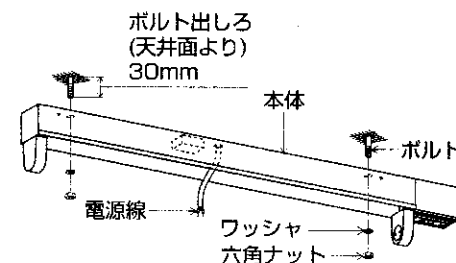
<木ネジで取付ける場合>

本体の電源穴に電源線を通し、木ネジ(市販品)で取付ける。



<ボルトで取付ける場合>

本体の電源穴に電源線を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

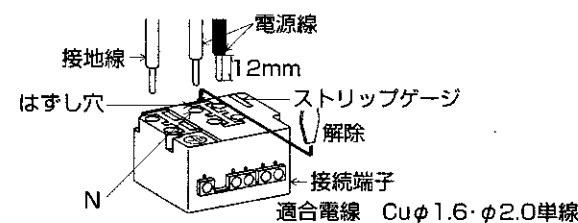


3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り容量15A以下)
はずす時ははずし穴にマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

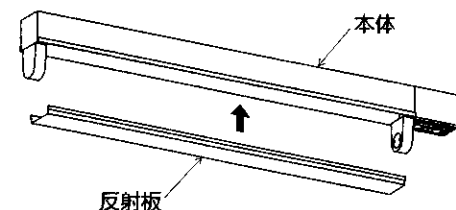
※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠ 警告 電源の接続を確実にこなってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。



4 反射板を取付ける

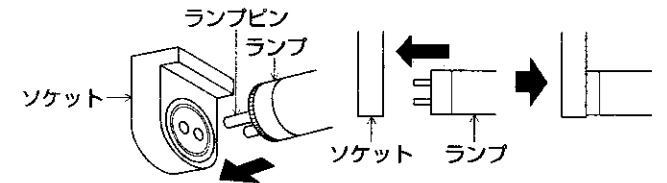
反射板を本体に確実にはめ込む。



5 ランプを取付ける

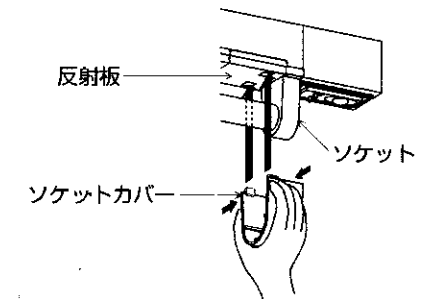
ランプピンをソケットに確実に差し込み、押しあてて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



6 ソケットカバーを取付ける

指でソケットカバーを押さえながら反射板に取付ける。



7 点灯の確認を行なう

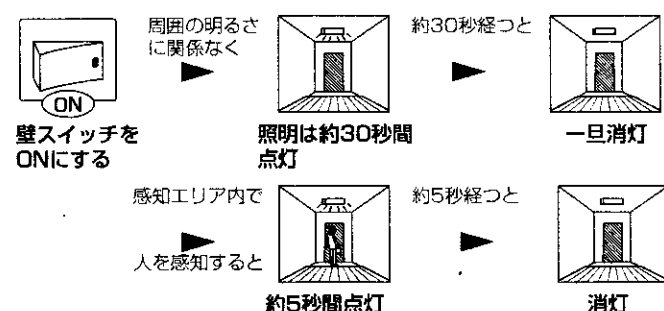
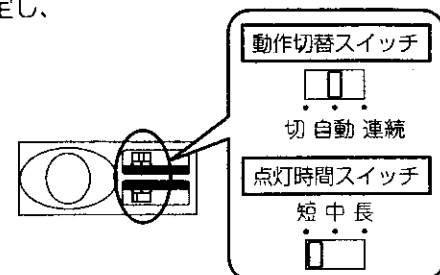
■センサの内容

スイッチ	スイッチ位置		設定内容
	動作切替スイッチ	点灯時間スイッチ	
切 自動 連続	短 中 長	短：約5秒間点灯 中：約60秒間点灯 長：約360秒間点灯	器具の点灯状態とセンサの動作をお好みのモードに設定できます。
※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。			

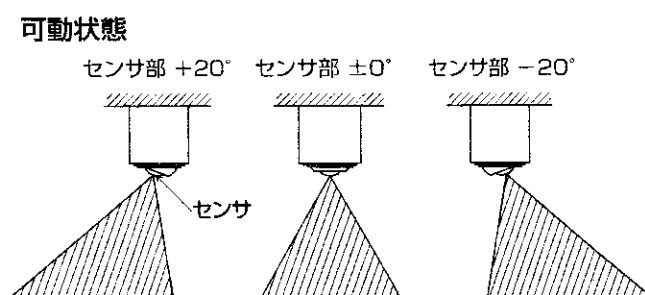
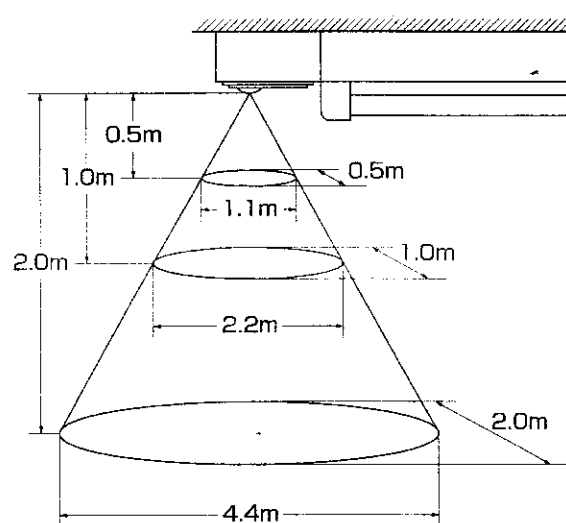
■感知エリアの設定

右図のように動作切替スイッチを「自動」に、点灯時間スイッチを「短」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

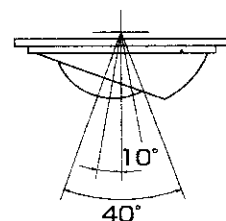
- ① 電源投入から約30秒後に一旦消灯しセンサ待機モードになります。結線および負荷の作動を確認できます。
- ② 明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約10秒間点灯します。感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。



※感知エリアは器具の形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。



- センサを動かして感知エリアを調整できます。
- ※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)
- ※調整範囲以上無理に動かさないでください。



※エリア確認後は必ず点灯時間スイッチを「中」または「長」にしてください。(点滅回数が多き場所での「中」設定はしないでください。点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。)

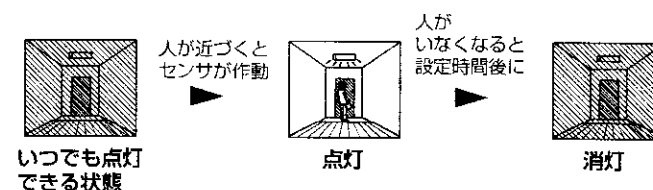
■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作切替と点灯時間を設定してください

●センサの動作について

<センサ待機モード>

人が近づくとセンサが感知して点灯します。
※電源投入から約30秒後に一旦消灯しセンサ待機モードになります。



※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- 点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。点灯時間スイッチを「長」に調整することをおすすめします。
- センサが感知すると「カチッ」と音がありますが故障ではありません。